

蘭越町

奥ニセコの緑と穏和と自立のまち

～蘭越町について～

人口4,500人(令和6年12月末時点)、後志管内の南西部に位置し、周囲をニセコ連峰等の山岳に囲まれた盆地を形成しており、町の中央を道南最大の河川「尻別川」が東西約30kmにわたり貫流し日本海に注いでいます。また、その流域に広がる平坦地は、肥沃で水田の耕作に適しており「らんこし米」の生産地となっております。気候は比較的温暖ですが冬は積雪量が多く、特別豪雪地帯に指定されています。

また、令和2年度からスタートした「第6次蘭越町総合計画」は、令和11年度までの10年間におけるまちづくりの指針を示す計画であり、将来像を「奥ニセコの緑と穏和と自立のまち「蘭越」としてしています。そして、誰もが安心して心豊かに暮らし続けるために、町民一人ひとりが「まち」への愛着と誇りを持って、未来に向けて果敢に挑戦し続ける「まちづくり」に取り組んでいます。



らんこし米

清流日本一に幾度も輝く「尻別川」の流域に広がる肥沃な土壌と、雄大なニセコ連峰から湧き出る天然のミネラルをたっぷり含んだ清流がおいしい「らんこし米」を育てます。

また、生産者によるきめ細やかな肥培管理により、タンパク質含有率が6.8%と低い数値で、蘭越町では主に程よい粘りと甘みの特徴の「ゆめぴりか」や甘みと粘りのバランスがよく、冷めてもおいしい「ななつぼし」が作られています。

その食味が道外でも広く認知されるようになり、蘭越町ではANAと連携を結び、国際線ファーストクラスの機内食として採用されました。

他にも、蘭越町で毎年開催されているお米の食味コンテスト「米-1グランプリinらんこし」では、全国各地から集まった米農家さんの中から、蘭越米の農家さんが幾度もグランプリに選ばれております。

豊穡な大地で実った自慢の「らんこし米」をぜひご賞味ください。



温泉

蘭越町は7つの泉質の温泉に恵まれた湯どころで、町内に幾つもの日帰り温泉施設・宿泊施設を有しております。町営温泉は2か所あり、それぞれ泉質の違う温泉施設で、昆布川温泉「幽泉閣」は、弱アルカリ性で体の芯から温まり、肌がなめらかになる「美人の湯」として知られ、ニセコ湯本温泉「雪秩父」は、蘭越町の観光名所でもある「大湯沼」を源泉とした良質な硫黄泉に恵まれております。

その他にも、町内にはニセコ五色温泉、黄金温泉など、人気のある温泉施設が点在しており、たくさんの観光客が旅の疲れを癒しています。お立ち寄りの際は、温泉に浸かりながらゆったりとした時間をお過ごしください。



昆布川温泉「幽泉閣」



ニセコ湯本温泉「雪秩父」



蘭越町の観光名所「大湯沼」

イベント

蘭越町では、自然の恵みを生かしたイベントが盛りだくさんです。

清流日本一に幾度も輝いている「尻別川」の川沿いで行われる「蘭越せせらぎまつり」。昨年は特別ゲストによるステージイベントや地元特産品の販売、キッチンカーなどの出店が並び大いに盛り上がりしました。

新米の時期には「らんこし新米まつり」が行われ、蘭越町の自然の恵みをいっぱい受けた「らんこし米」を目当てに、町外から遠路はるばるやってくるお客さんがたくさん来場されました。お米クイズやじゃんけん大会、ちびっこ緑日など、大人から子どもまで楽しめるイベントとなっております。

その他にも、ラリーカーの祭典や自転車レース、花火大会など蘭越町の広大な自然ならではのイベントが目白押しなので、ぜひ蘭越町に足を運んでみてください。

